

第5・6学年 複式授業「特別の教科 道徳」学習指導案(略案)

令和3年1月26日(火)5校時
5年生3名,6年生2名 計5名
指導者 山崎 大雅・清水 智幸(特担)

1 主題名「広く受け入れる心」(B-11相互理解,寛容)

(1) 資料名「ブランコ乗りとピエロ」

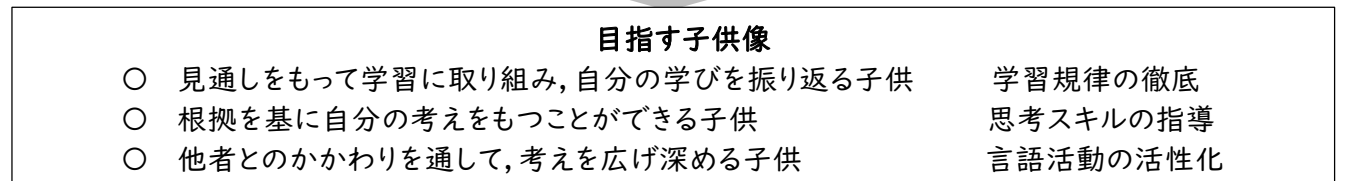
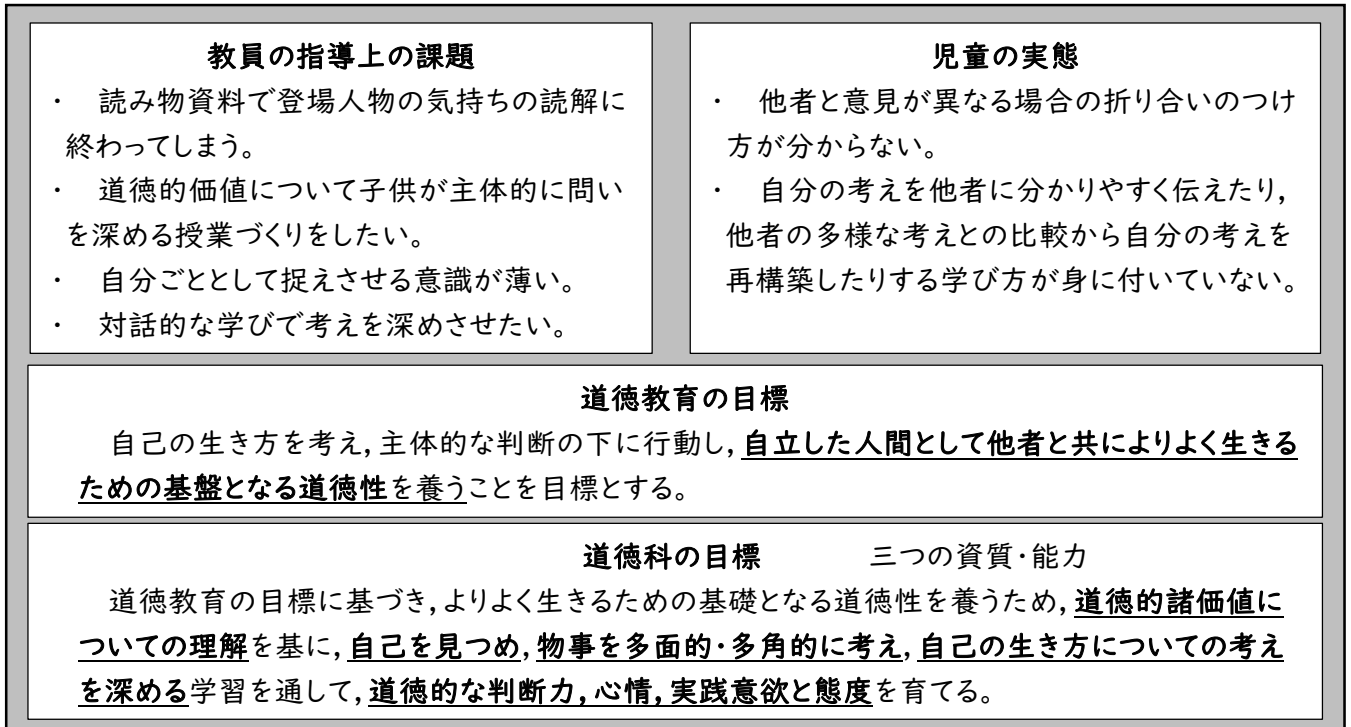
(2) 本時のねらい

ア 意見や立場が異なる人に対して,どのように関わることができるかを議論し考察させる。

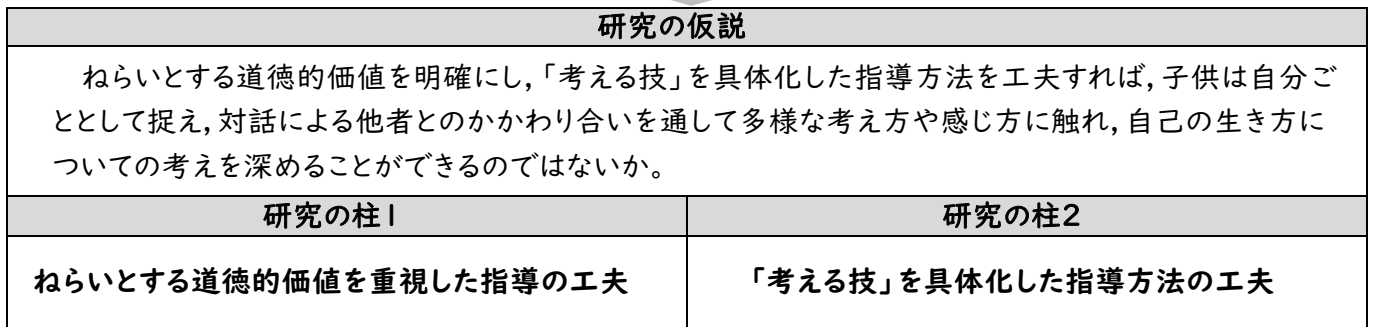
イ 自分と異なる意見や立場を尊重するためには「謙虚な心」「広い心」が必要であることに気付かせ,その心情を培う。

2 本時の流れ

過程	主な学習の流れ	時間	教師の働きかけ (□内は「考える技」)
導入	1 アンケートの結果を知る。(マイナス面について)	1415	○ アンケート結果から自分勝手なことをする人を『許す』『許せない』の判断基準を問い,めあてに導く。
	2 本時のめあてを知る。 □「相手を許す」ためには何が必要か。	(3分) 1418	
展	3 教材文を読んで道徳的価値について考える。 ○ 主人公ピエロについて考える。 【はじめのピエロ】 【後のピエロ】	1418 (7分) 1425	○ めあてに沿って読み聞かせを聞くように指示する。 ○ 登場人物について思考をめぐらす際,口頭で行ったり,グループでの活動を入れたりして,考えをまとめさせる。 □推測 ○ 考察を深めるために,教材文に目を通して考えることを促す。 □理由 ○ 【はじめのピエロ】・【後のピエロ】を並記することで,「相手を許す」ことの価値を際立たせる。
	□サム一人だけ目立つのは許せない。 □団員のみならず協力しろ。 □和を乱すな。 □オレも目立ちたい。	(10分)	
	□サムは努力をしていたんだ。 □あんなに一生懸命に。 □王や観客が楽しんでいる。 □サムと協力していこう。		
	○ サムや観客について考える。 □なぜ,ピエロはサムを許すことができたのか。	1435 (5分)	
開	4 まとめる □(例として)「相手を許す」ためには,「広い心」や「謙虚な心」をもち,自分の考えを伝えたり,行動の背景にある相手の気持ちを考えたりすることが大事。	1440 (10分) 1450 (5分) 1455	○ 発表時は,役割演技的な方法を取り,サムやピエロの心情に迫る。 ○ ピエロの心の変化について,自由に発表させキーワードを板書する。 □共通点 □まとめる ○ 分かっているてもできない心の弱さに気付かせるために,児童の心を揺さぶる言葉掛けを行う。 □仮定 ○ 児童の言葉でまとめるように心がける。
	5 教師の説話を聞く。	1455 (5分)	○ 自己有用感を高めるために,児童一人一人が日頃の言動で,「広い心」をもって接している様子を話す。
		1500	○ 児童の課題についても触れる。



研究主題
対話を通して考えを深める子供の育成
～「考える技」でかかわり合う授業づくり～



基礎研究	教材研究	教材研究	授業研究
小学校学習指導要領解説 (平成29年7月) ○改訂の趣旨や用語 ○道徳科の目標 ○道徳科の見方・考え方 ○道徳的価値と内容項目 ○道徳性の諸様相 ○教材研究のしかた ○中心発問 ○考え議論する道徳	「許す」かどうかをどう決めるか だれにでもおなじように 「もりの ふれぜん」と 他国との心のつながり 「エルトゥールル号」 相手を理解する心 「ぼくだって」	遠隔研修 7月 誠実に生きる A 正直, 誠実 「手品師」	1・2・3年合同 10月 みんななかよく B 友情, 信頼 「二わのことり」